

令和6年度 1学年『異分野融合サイエンス』B期第1回(9/19実施)生徒アンケート自由記述

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・米沢をもっと良い観光地にするために、アイデアを出し合って案を出せたなと思います。(2) 米沢に住んでいるけどあまり考えたことがなかったので、良いところや課題を自分なりに理解できたなと思います。次回は、今回の講座で学んだことを活かして、フィールドワークを充実したものにしたいです。(4)
- ・米沢の観光に目を向けることは少なく、初めて直面する課題が多くあり、改善すべきだなと思った。(2) また、それらをデータと結び付けて人に説明すると、より実現が現実的になるのではないかと考えた。
- ・米沢の観光に対する考え方、課題のを見つけ方などとても勉強になる良い機会になりました。(2)
- ・観光、道の駅についての各自治体の取り組みが知れました。その一方で、東北の観光客シェアの少なさ、人手不足など様々な課題があり、観光資源を十分に生かし切れていないのだと感じました。また、Excelでのグラフの表示の仕方、効果的な表示方法など、実用的な知識も習得することができました。
- ・データサイエンスに苦手意識があったが、今回はとても分かりやすくて安心した。
- ・今回の講義を通して、調査の方法などについてイメージがふくらみました。次回のフィールドワークでは、今回学んだことを活かして頑張りたいです。
- ・街づくりをしていくのは市の方だという意識が強くあったけど、僕たちも市民として考え行動する必要があるんだと強く感じました。
- ・「米沢をもっとよくするために」という1つの項目に2時間かけて考えられて良かった。なんとなく過ごすのではなく、「よくするためにどうすれば」を考えて、今後も生活していきたい。
- ・Excelを有効活用していきたいと思いました。広い視野で魅力・課題を発見していきたいと思いました。ただ、見つけて考えをまとめても、それを行動に移すとなると、様々な現実が浮き上がってくると思うので、そういうところへの対処も頑張りたいです。
- ・他の班の考えを聞いて、それを参考にして新しい視点や考えが得られて良かったです。

② 人文学とサイエンス

- ・心理学は科学からアプローチをかけるということから始まり、文理融合や先端科学との融合の重要性をはかることができ、とても有意義な時間だった。(4)
- ・犯罪心理学に対するイメージがより鮮明なものになった。(5)
- ・犯罪心理学で、統計学や生理学を使うと思わなかったもので、とても驚きました。面白かったです。(9)
- ・言葉、行動、生理反応などの人の心を知るための様々なアプローチがあることを知って驚いた。(2) 遺伝子と反社会的行動の結びつきを調べる調査の話は面白かった。
- ・今まで以上にこの分野に興味を持つことができた。(4)
- ・犯罪心理学を学んでみて、犯罪をする人には様々な要因があることを知りました。(2) しかし、家庭的な要因も関係していて、周りの環境も大切ということを感じました。(3)
- ・心理学、犯罪心理学について詳しく知ることができ、まだまだ進化できる学問だということに驚きました。
- ・犯罪について、もっと詳しく、動機以外にも目を向けて考えることができた。
- ・心理学は奥が深い学問なんだなと知って、驚きました。(2)
- ・内容は難しかったけど、集中して話を聞くことができました。犯罪を犯した背景や統計学が重要だということが分かりました。初めて知ることがたくさんあり、学びにつなげることができました。

- ・自分が今まで想像していた心理学への印象が 180° 変わりました。犯罪心理学の成り立ちや歴史について知れて興味や関心が高まる良い時間になりました。
- ・映画の話題や心理学の歴史を振り返る場面で、とても興味をひかれ、人が関わってくる研究をするのも楽しいのかなと少し思いました。
- ・いろいろな分野から 1 つの物事を分析していて、色々なことを広く学ぶことは大事だと感じさせられた。
- ・思っていたより面白そうだった。
- ・今まで触れたことのない分野で楽しかった。
- ・心理学を学ぶことで、様々な広い分野で活かせることが分かった。また、知識が多いと判断材料につながるの、たくさん勉強をして、将来につなげたいと思った。犯罪心理学に興味が生まれた。

③ 教育と科学

- ・自分で作文の題材を見つけ、それを他の人と共有することで、さらに新しい発見につながって面白かった。
- ・新しい気づきに繋がって良かった。(2)
- ・意見を共有していく中で、自分が気づけなかったところに焦点を当てて、考えることができた。(2)
- ・作文教育というと、書き方を先生から教えてもらったり、テーマが与えられて、それに沿って書くイメージがあったが、海外では主体性を伸ばすような教育が行われていて良いなと思った。(2) 日本でもこんな教育があったら、苦手な作文も楽しく勉強できるだろうなと考えた。
- ・アメリカの教育も日本とは違った良さがあり、世界に目を向けて教育の分野を考えるのも面白そうだなと思いました。(2) 今回の講義を受けて、とても良い刺激になりました。
- ・ライティングワークショップをやってみて、少し作家の気分になって、題材について考えることができたので良かったです。次回の授業準備に向けて、班で、何をするかや構成などをしっかり考えられたので良かったです。
- ・教育について新たな発見があった。人に教えるには工夫が必要だと知った。
- ・「自立した書き手」というのがとても素敵だなと思いました。
- ・「日本教育の当たり前」を問い直すことはとても新鮮に感じました。型がないことは子供の自主性を高める一方で、思いつかない子への支援も重要だと思いました。

④ ライフサイエンス

- ・米を炊くとふっくらする理由や米粉の性質など、身近なことだが詳しくは知らなかったことについて、学ぶことができた。毎日無意識に食べている米も科学に大いに基づいて作られているということを実感した。今後は、「食」の分野でも科学とのつながりを意識しながら生活していきたいと思った。
- ・小麦アレルギー等でパンを食べることができない方々にもパンを食べられるチャンスが増えるのは素敵なことだ。
- ・初めて学ぶ分野だったけど、すごく興味深かったです。
- ・専門的なことを詳しく聞くことができたし、それが我々の日常生活にも深く関わってきているということを実感しました。
- ・今までよく知らなかった食について様々なことを知ることができました。実験を通して、小麦と米粉とでは成分的にみればあまり差がないように思えてもいざやってみると、グルテンや分子の構造の違いで、こんなにもおび方が違うのかと分かり驚きました。普段あまり気にしていなかったコメの品種でもアミロースやアミロペクチンの長さなど形が少しずつ違って、それが触感であったり、パンにした時のふくらみにも違いが生じると分かり、とても興味が湧きました。世の中へ広く“米粉”というものを広げるのは、値段に加えその他様々なことを考慮しなければならないけれど、米粉という存在が今後たくさんの人の食を支え、アレルギーであっても安心してかつ安価に毎日の食事を彩るも

のになればよいなと思いました。

- ・米粉パンの流通が少ない理由がとてもよく分かりました。
- ・実際に実験してみて、米粉や小麦粉、アルファ化米粉の粘りの違いがよく分かって良かったです。(5)
- ・アルファ化米粉を使って、ティラミスやピザを作ってみたいと思った。実習もあり、楽しんで学ぶことができた。
- ・米粉パンの研究がアルファ化米粉を使うことや専用品種の研究で進んでいるということが分かりました。パン以外にもアレルギーを持つ人も食べられるようになってほしいと思いました。
- ・自分たちが生活している見えない場所で研究している人々がいると実感したし、知らなかったことが多く興味を持った。実験しながら楽しく学べたので面白かった。(2)

⑤ 機械・エネルギー工学と社会

- ・工学部でも、生態系など生物に関わる研究をしていることが意外だった。一言にロボットといっても、大きく分けて人をサポートするロボットと人の代わりになるロボットの2種類があることが分かった。大学では、高校では行わないような内容の研究をしていて、改めて大学と高校との研究レベルの差を実感した。
- ・研究室を見学して、ロボットへの関心が高まりました。(3) また、ロボットは未来で大活躍すると感じました。将来の進路選択に向けて視野が広がりました。
- ・多くのラボを見学して、それぞれ特色ある研究を行っていてとても面白いと思った。(5) 機械の奥深さをより感じられた。
- ・自分では考えないような発想もあって、興味深かったです。
- ・人工筋力やサクランボ収穫ロボット、マッコウクジラやイルカの生態を明らかにするなど、世の中には知らない機械がまだまだあるのだなと思った。
- ・これまでロボットは、モーターを用いてこそ動くものだという認識がありましたが、実はそうでないことに気づきました。モーターだけにとどまらず、幅広い可能性があってこそロボットだと気づくことができ、良かったです。

⑥ デザインと工学

- ・建築や街のデザインにも工学の要素が多く使われているのが意外だった。逆に、工学でもデザインの要素も必要になってくるのだと思い、幅広い分野を勉強していきたいと思った。
- ・視野を広げることを今回の研修で学んだ。いつも私たちはデザインされた(工夫された)空間の中にいる。今回初めてデザインを実際に考える立場になり、難しいと思うと同時に、工夫の仕方の多様性を知ることができた。
- ・ランドスケープデザインという分野の講義を受けて、ものの見方が大きく変わりました。(4) 自分にとって遠い存在だった分野に触れてみることで、自分の将来の選択肢が増えると感じました。
- ・今回の講座を受講して、デザイン、工学の担う役割の重要性について知ることができた。
- ・思索の森という身近なスペースの活用方法をグループで考えてもっと良いスペースにする可能性を見つけてよかったです。暮らしの中の不便なところもデザインの力で住みやすくできそうだと思います。
- ・グループワークも含んだ活動で、意見も共有でき、楽しみながら活動できたので良かった。

⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・自分が住んでいる地域の近くにも公害という歴史があったことに驚きがありました。また、見えないところで自然への影響があり、自分も自然に関心を持って守っていくべきだなと思いました。
- ・まだまだ知らないことが多いので、様々な体験をしたいです。
- ・今回、硫黄の鉱山に行って、化学と住民との生活の関係を知ることができ、学習と生活のつながりを実感した。(3)

- ・実際に現地に行き、PHの検査をすることで施設の重要性を理解することができた。(2)
- ・実際に天元台に行って水を採取することにより、「水」について考えるきっかけになりました。これからもっと、酸性の水について詳しく調べたいと思いました。

⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・知らないことを学ぶのは楽しいと思った。特に今回は身近である野菜、果物だったので、違う見方ができてよい勉強になった。(8)
- ・実際に目にすることで、理解をより深められたので、面白かったです。
- ・とても興味深い内容だった。(2)
- ・問いかけがたくさんあって、自分で考えたり想像したりする力が成長したと思います。これからの高校生活で大事になる事をたくさん学ぶことができました。
- ・植物の仕組みを知ることができた。また、生きる上で大事にすべきことも学べた。(3)
- ・初めて聞く単語が多かったけど、実物を使ったり想像しながら理解できたと思います。先生の人生に対する考えも面白かったです。
- ・大学で学びたいと考えているテーマと非常に近い内容で、とても有意義だった。身近にあるのに気づいていない面白いものがたくさんあるとわかって、ワクワクした。
- ・バイオの分野と身近な社会課題の密接した関係を知ることができました。自分の興味ある分野で、先生のように展望を持って生活したいと思いました。
- ・話を聞いて、とてもためになることが多く、知識の幅が広がりました。また、植物に関しても以前よりも興味・関心が高まりました。
- ・自家不和合性についての講義を受け、植物は多様性を守るために様々な特性を持っていると知った。また、それを人間が使い、コントロールできるようになることで、食糧不足などの大きな課題への対策になり得るのだと知ることができた。そして、基礎力、体力を磨いていきたい。

⑨ 医療の最先端

- ・今回の講義では、遺伝子について自分の知識を深めることができる良い機会でした。(8) これからもこのような医療の講義に参加してみたいと思いました。
- ・遺伝子から考える親孝行を通して、少子高齢化への新たな視点を持てた。がんに対する知識をたくさん持つことができた。
- ・以前よりも興味をもつようになった。がんなどの身近な話も合って、遺伝子や病気について、もっと知りたいと思った。(2)
- ・遺伝の話など、生物基礎の内容とも関連していておもしろかった。
- ・仲間と協力してDNAについて考えることができ良かったです。日頃の生活が大切だと思いました。
- ・がん細胞と正常細胞の違いを知れた。
- ・面白かった。(2)
- ・遺伝子の分野はまだまだ人類が知らないことばかりなので、とても興味を持って聞くことができました。
- ・受講前は難しい内容なのかな思っていたけど、受けてみると学習したところなども講義の中でできて、自分なりに理解することができた。また、興味ある内容だったので面白かったです。